



『歩みを共に』
～全道のPTA会員の皆さんへ～

北海道PTA連合会 会長 菊川哲平

全道のPTA会員の皆様には日頃より北海道PTA連合会の活動にご理解ご協力いただき感謝申し上げます。また、各単位PTAの活動におかれましても日々ご尽力されていることに感謝いたします。

さて、新型コロナウイルス感染症の蔓延で学校行事やPTA活動等、通年と違う形で取り組まなければならない中で、日々の生活や活動に苦慮されているという声が多く届いております。又、10月下旬からの再度の感染拡大で今後の情勢にも予断の許さない状況が続いております。北海道PTA連合会としても諸会議や理事会等を書面での開催としたり、10月3日・4日に予定しておりました北海道ブロック研究大会函館大会については中止という判断をさせていただきました。また、地区研究大会においても中止の判断が多くなり、会員皆様の学びの場を提供できない事が非常に残念であります。

誰もがこのような経験のない中で、今まで当たり前だと思っていた学校生活が当り前に行えない苦しさ、様々な制限を受けた中で過ごす学校生活に子どもたちのストレスも多いものだと感じております。しかしながら、この状況の中でも学校運営にご尽力されている先生方には頭の下がる思いですし、子どもたちに少しでも思い出に残る学校生活を送りたいと様々な対策や取り組む方法を検討し実践していただいております姿や思いが子どもたち一人ひとりに学校生活の思い出の1ページとなり届く事と願っております。

日々の学校生活やPTA活動を通して先生方と繋がりを持ち、子どもたちの様子を知る事は、PTA活動の大事な一つのカテゴリーです。ただ、現在の状況では集まる事の難しさや、気軽に学校を訪問し子どもたちの様子を伺うのも難しくなっております。この状況が大変もどかしく、子どもたちと共に楽しく活動をしていただいております会員の皆様には非常に申し訳なく思いますが、学校の受け入れ態勢の制限や消毒作業等々の負担軽減にご理解いただければと思います。

私たちPTAはどんな時においても変わらない想いがあります。それは『子どもたちの健やかな成長を見守る事とそれを支える環境作りに手を差し伸べる事』です。今年はこのような状況の中で活動もままならないのが現状だと思います。ただ、出来ない理由を感染症でのひとまとめにして欲しくはありません。この状況だからこそ出来る事はなんだろう・出来る方法を考えようとする前を向く力が今一番問われていると思います。各単位PTAや地区PTAがこの状況の中でも歩みを進めるべく様々なツールを活用し活動の開催に努力していただいております。そのような姿に大変心強く感じておりますし、体制を作り上げる努力に力強さを見ることが出来ました。今後、北海道PTA連合会といたしましても単位PTA・地区PTAの皆さんの力をお借りしながら多くの情報や先進事例を発信し、皆様のPTA活動に役立てていけるよう届けていければと考えております。

全道の会員の皆さん、これからも子どもたちを思い歩み進めましょう。地域が一つになり学校や保護者が連携を強くし進む時です。私たち一人ひとりの取り組む力が北海道の子どもたちの糧となり花となるはずです。

北海道に子どもたちの元気な笑顔の花を皆で咲かせましょう。頑張ろう北海道！